



自立活動実践セミナー2017 「教室でいきる自立活動」

全体会(講演)



コース別研修

演習・実技
公開授業

“自立活動”の基礎から実践まで
講義や演習, 実技で学ぶ2日間!!

小・中・高等学校の
先生方も是非
ご参加ください!

期日

平成29年7月31日(月) 8月1日(火)

会場

筑波大学附属桐が丘特別支援学校

現在、共生社会に向けたインクルーシブ教育システム構築に不可欠な特別支援教育の推進が強く求められています。こうした中、特別支援学校だけでなく、特別支援学級、通級の指導、通常の学級においても自立活動の考え方や指導の重要性が一層高まっていくものと考えられます。今、自立活動の理解と専門性の向上や個別の指導計画の活用が、学校及び個々の教員の喫緊の課題となっています。

昨年度の自立活動実践セミナー2016では、特別支援学級や知的障害特別支援学校の先生方にも多数ご参加いただき、障害種を問わず「自立活動の指導をどのようにとらえ、学校の教育活動全体においてどうかすべきか」、「具体的にどのような指導を行っていけばよいのか」について講演やコース研修を通して考えてまいりました。

今年度の自立活動実践セミナー2017では、全体会（第1日午前）で、文部科学省特別支援教育課特別支援教育調査官の分藤賢之先生より、次期学習指導要領をふまえ、自立活動の指導を今後どのように充実させていけばよいかについてご講演をいただきます。第1日午後からは4つのコースに分かれて、当校の具体的な取り組みを紹介しながらさらに深くテーマにせまってまいりたいと思います。

演習や**実技**もあり、教員経験、肢体不自由教育経験の少ない先生方にも共感と手応えを得られる内容になっております。今年度も是非貴職ならびに関係職員のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

日程

第1日 7月31日(月)



文部科学省初等中等教育局
特別支援教育課特別支援教育調査官
分藤 賢之 氏

当校の自立活動の専門性向上に関する取り組みについて発表いたします。

事前にご希望いただいた、4つのコースに分かれて研修を行います。

第2日 8月1日(火)



前日のコース研修場所から研修が始まります。

選べる4つのコースの紹介

■ Iコース テーマ:「個別の指導計画」に基づく授業づくりのあり方

特別な支援を必要とする児童生徒に関わる全ての先生方へ！

「こんなふうに育ってほしい！」という子どもの姿を周りの先生方と共有できていますか？
“個別の指導計画”と“毎日の学校生活・毎日の授業”，きちんとつなげられていますか？



本コースでは、自立活動と各教科等の授業を有機的に関連させ、より効果的な指導を行うための核である**個別の指導計画**について、「システム」「共有」「具体化」「サイクルをまわす」をキーワードに、その考え方や具体的な方法を、演習を通して体験的に学んでいただきます。

「一人ひとりの子どもをどうとらえたらよいのか？」「どのように個別の指導計画を活用・運用していけばよいのか？」悩んでいる先生方、ぜひご参加ください。

■ IIコース テーマ:障害の重い子どもの学級づくりを支える「静的弛緩誘導法」

人間は一人では生きられません。社会の中で生きられるのが人間です。その力を育てるのが学校教育であり、そのための重要な場が学級です。それならば、社会の中で生きていく力が育ちにくい障害の重い子どもたちにこそ、学級づくりが大切なのではないのでしょうか。

そのとき、“人間が育つ”いちばん初めを支えていく、具体的な方法である「静的弛緩誘導法」が、学級づくりに欠かせないと私たちは考えるようになりました。

このように考えるようになった理由を、講義、実技体験、公開授業を通して説明し、障害の重い子どもたちの学級づくりの意義を共に考えてまいりたいと思います。



■ IIIコース テーマ:「動作法」を活用した自立活動の授業づくり

自立活動の授業で、「何を指導したらよいのか？」「何のために指導しているのか？」
「指導していることが何につながっているのか？」など、疑問をお持ちではないですか。

本コースでは、動作法の考え方を使って、以下のことをわかりやすくお伝えします。

- 日常生活場面での子どもの見方やとらえ方
- 自立活動の指導計画を作成するときの実態把握や目標設定、評価の仕方
- 参考にいただけるような指導事例の紹介や授業公開
- 指導されているお子さんにも「こう関わってみたい」と思えるような実技体験
- 参加者のニーズに応じたテーマによる、テーマ別の研修の時間



経験の少ない先生方にも、指導の見通しを持つ手がかりを見つけていただけると幸いです。

■ IVコース テーマ:子どもが喜ぶ「知覚-運動学習」その理論と実際

知覚-運動という視点から、子どもの実態を捉えたことがありますか？ 肢体不自由児には知覚-運動の能力に課題がある場合が多く見られます。その実態把握や指導方法、教具・教材のアイデアについて提供するのが本コースです。

本コースでは、知覚-運動学習理論に基づく子どもの見方や指導の考え方を講義し、当校知覚-運動学習研究グループで開発・作成した感覚運動教材(あそび)や認知学習教材、授業での活用・展開について具体的に紹介します。

また、比較的経験の浅い方でもお子さんとのふれあいやかかわりの糸口としても活用していただける感覚運動教材や教科学習場面に役立つ認知学習教材について実技実習して頂き、実践例についても提示してまいります。



【コース研修について】

○事前の申し込み時に、I、II、III、IVのいずれかのコースを1つお選びいただきます。

○第1日午後と第2日は同じコースでの参加となります(複数コースの参加はできません)。

○II、III、IVコースに参加される場合は、実技がありますので、動きやすい服装をご用意ください。

教員間で子どもの情報を共有している実感がない

子どもの実態把握をどうしたらいいか

授業につながらない
自分の指導に自信がない

こんな困りが



指導のサイクルってこういうことか！
情報の共有ってこれでいいんだ！

明日から子どもにこう関わってみよう！
学校で先生たちとやってみたい！

自分の専門性を高めるきっかけが
できた。もっと学びたい！

こんな気づきに



参加申込

お申し込みは当校ホームページにて受け付けます
参加申込フォームに必要事項をご記入の上お申し込みください

ホームページ
アドレス <http://www.kiri-s.tsukuba.ac.jp/>

申込期限 平成29年7月24日(月)

会場案内



初日午前(全体会)は
桐が丘特別支援学校
本校で行います。
施設併設学級校舎もござ
いますので、お間違えのな
いようご来校ください。

- 東京メトロ有楽町線・副都心線「小竹向原駅」下車 徒歩13分
- JR赤羽駅東口より国際興業バス・関東バス高円寺駅北口行き
「上の根橋バス停」下車 徒歩8分

参加費

6,000円
(2日間)

※宿泊の手配, 昼食につきましては,
各自でお願いいたします。
昨年度の様子は, 当校ホームページ
よりご覧いただけます。

<振込先>

- 郵便振替
番号 00140-4-722070
加入者名 研究協議会
- ゆうちょ銀行
支店名 〇一九(ゼロイチキュウ)店
種別 当座
口座番号 0722070
加入者名 研究協議会

<問い合わせ先>

筑波大学附属桐が丘特別支援学校(本校)
〒173-0037
東京都板橋区小茂根2-1-12
TEL (03)3958-0181 FAX (03)3958-3901
URL <http://www.kiri-s.tsukuba.ac.jp/>
E-mail seminar@kiri-s.tsukuba.ac.jp